

第4次与那原町総合計画

～太陽とみどり、伝統とやさしさを
未来へつなぐ海辺のまち～



平成23年度
与那原町

①前回住民会議検討範囲（４月２６日実施）

コンパクトで快適に暮らせるまちづくり

市街地整備

道路体系

公共交通機関の利便性の向上

緑化

上水道

下水道

都市計画

①前回住民会議検討範囲（４月２６日実施）

（３）公共交通機関の利便性の向上

現状と課題

- 本町は、国道 329 号と 331 号が交差する位置にあり、沖縄本島東部地域における交通の要衝地ですが、自動車の利用者増加に伴い交通量が増え、慢性的な交通渋滞地域となっています。
- 自動車依存型の住民生活のため交通渋滞の悪化によりモビリティ（※７）が低下し、公共交通機関を移動手段とする年少者や高齢者などの交通弱者が不便をきたしています。
（※７ 一人ひとりの移動・地域全体の流動）
- 交通渋滞、環境問題や健康問題に配慮しながら過度の自動車交通への依存から脱却し、誰もが利用しやすい、環境にやさしい、まちづくりに資する新たな公共交通システムの確立を図ることが必要です。

施策の方向

【基本方針】

関係機関と連携を図りながら、新たな公共交通システム（基幹バス、LRT 等）による将来交通ネットワークの構築を目指します。また、本島東部地域の広域交通結節点として、誰もが移動しやすい交通体系の確立に取り組みます。

②今回住民会議検討範囲（５月～６月目途）

【施策の概要】

① 新たな公共交通システムの確立

- 本町と那覇市を結ぶ定時定速性に優れた LRT 等による新たな公共交通システムの確立のため、住民、事業者、関係自治体との協力体制の構築を図り、国や県に事業実現のため積極的な働きかけを行います。

② 誰もが移動しやすい交通環境の確立

- 新たな公共交通システムとの連携を図りながら、中南部方面からのバス、タクシー等の公共交通機関や町内交通機関（コミュニティバス等）と接続する広域交通結節点としての整備を図り、歩行や自転車移動でも利便性が良く誰もが移動しやすい交通環境の確立に取り組みます。

【施策の体系】

